

## ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件と一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

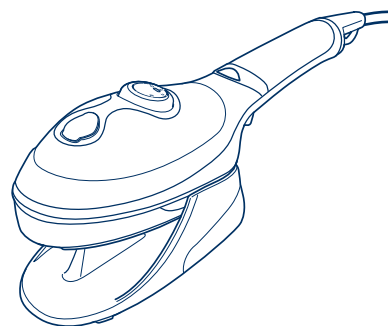
※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

### 家庭用

## ハンディーアイロン&スチーマー SA-4084 取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。不適切な取扱いは事故につながります。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。

RX1208D

### ● もくじ

安全上のご注意	1・2
使用上の注意とお願い	3
繊維製品の取扱いとご使用の目安	3
きれいにアイロンをかけるには	4
各部の名称とはたらき	5~6
使いかた	7~12
お手入れ	11・12
こんなときは	13
アフターサービス 仕様	14

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## ●表示の説明

**警告** 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

**注意** 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

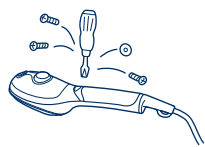
## ●図記号の説明

禁止、ぬれ手禁止、接触禁止、強制的な禁止記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

強制記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 警告

**分解禁止** 絶対に分解・修理・改造は行わないでください。



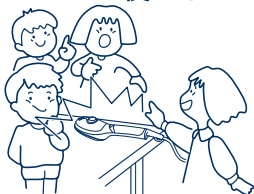
発火したり、異常動作によるけがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。

**ぬれ手禁止** ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



感電やけがの原因になります。

**禁止** 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。



やけど・感電・けがをする恐れがあります。

**強制** 電源プラグのホコリなどは定期的に拭き取ってください。

電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。  
●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

**強制** 定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

**禁止** 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

**禁止** 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

**強制** 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。感電・ショート・発火の原因になります。

## 注意

**禁止** 交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因になります。

**プラグを抜く** 使用時以外は必ず温度調節ダイヤルを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や事故の原因になります。

**プラグを抜く** 給水・排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電することがあります。

**強制** 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

**禁止** 人や身体および着用したままの衣類に、スチームをかけないでください。やけどの原因になります。

**禁止** 絵表示より高い温度目盛でアイロンかけしないでください。布地を傷める原因になります。

**禁止** 引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しないでください。火災や故障の原因になります。

**禁止** 製品に水をかけないでください。感電や故障の原因になります。

**禁止** 熱いアイロンにコードを巻きつけしないでください。ショート・発火することがあります。

**禁止** 通電したまま放置しないでください。



けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

**接触禁止** スチームを顔や手、足にかけないでください。やけどの原因になります。



**接触禁止** 高温部(かけ面・スチーム)に触れないでください。やけどの原因になります。



**強制** 製品を運ぶときは、製品が十分に冷えていることを確認してください。けがや、やけどの原因になります。

**禁止** 落としたりぶつけたりしないでください。感電・発火の原因になります。

**禁止** このような動きはしないでください。アイロンを激しく動かす。やけど・水もれの原因になります。

**禁止** スチームボタンを連続して早く操作しないでください。2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。

# ⚠️ 使用上の注意とお願い

- アイロンかけの際、アイロン本体をアイロン台からはみださないようにしてください。スチームによるやけどの原因になります。
- ボタン・フック・ファスナーなど固いものに直接かけないでください。かけ面のフッ素樹脂加工を傷つけます。
- スチームには上水道の水をご使用ください。ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。タンク破損や衣類を汚す原因になります。
- 業務用や他の目的に使用しないでください。過負荷による故障の原因になります。

# 繊維製品の取扱いとご使用の目安


- おかけになる布地に日本工業規格 (JIS) で定められた絵表示がある場合、温度設定位置との関係は下表の通りです。

絵表示と温度の関係

繊維製品の絵表示	低	中	高
繊維の種類	アクリル・アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン ビニリデン	絹・毛・ナイロン・ビニロン レーヨン (長繊維) キュプラ・アセテート ポリエステル・トリアセテート	綿・麻 レーヨン (短繊維) ポリノジック
温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度	約80~120℃	約140~160℃	約180~200℃
設定温度になるまでの時間	約20秒	約30秒	約40秒

絵表示の見かた

 指定された温度であて布をする意味です。

 指定された温度で布地の裏からかける意味です。

 アイロンかけはできません。

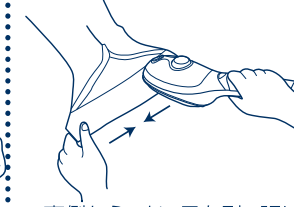
その他「スチーム禁止」などの表示がある場合は必ずその指示に従ってください。

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合は、繊維名に従い温度を合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。
- 使用中、アイロンを止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度でも布地を傷めることがありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維 (化繊・絹・毛など) にアイロンをかけるときはあて布をするか、目立たない部分にためしがけをして異常のないことを確認してからかけてください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンかけをしないでください。

# きれいにアイロンをかけるには


ワイシャツ

**1. カフス**



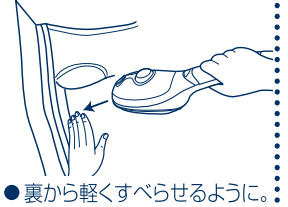
裏側から、ぬい目を引っ張りながら両側中央に向かって。

**2. 肩**




● 後ろヨークの両端を折りたたくて後ろに引き寄せる。  
● エリのまわりにそってかける。

**3. 後ろ身ごろ**



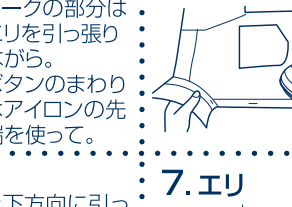
● 裏から軽くすべらせるように。  
● ヨークの部分はアイロンの先端を使って。

**4. 下前身ごろ・下前前立て**




● ヨークの部分はエリを引っ張りながら。  
● ボタンのまわりはアイロンの先端を使って。

**5. 上前身ごろ**




● 軽くすべらせるように。  
● ヨークの部分はエリを引っ張りながら。  
● ポケットは下から上にすべらせる。

**6. 上前前立て**



上下方向に引っ張りながら。


**7. エリ**



● ぬい目を引っ張りながら両端の中央に向かって。  
● スプレーのりをかけたときはドライアイロンで。

パンツ


**ひざのたるみを取る**



たるんでいる部分にらせん状にスチームをかける


ネクタイ

**結びじわ・たるみを取る**




裏側からスチームをかける。

**1. 全体仕上げ**




アイロンを少し浮かせてスチーム (数回) で全体にかける。

**2. そで口**



タテ方向に引っ張りながらスチームをかける。

**3. ゴム編み部分**



● 手で縮めて形を整えながら。  
● たっぷりとスチームをかける。

4

# 各部の名称とはたらき

## 注水口ふた

タンクに水を入れるときは、電源プラグをコンセントから抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してから計量カップで入れてください。

### 初めて使用する際のタンク内部の水滴について

タンク内部に水滴がついている場合があります。検査をしてお届けしているため、異常ではありません。

## 温度調節ダイヤル

目盛合わせ位置

温度調節ダイヤル

## 加熱ランプ

点灯・消灯することにより、かけ面の温度コントロールをしていることをお知らせします。

## お願い

- 使用中、内部で「カチ、カチ」音がする場合がありますが、自動温度調節器（サーモスタット）が動作している音で異常ではありません。
- スチーム噴出時に白い粉が出る場合がありますが、水に含まれる鉱物質などが出るもので異常ではありません。白い粉が衣類についた場合は、払っていただくと取れます。
- 洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンかけをしてください。

満水目盛

100ml入ります。

タンク

アイロン  
本体

ハンドル

## スチームボタン

スチームボタンを押すと、約1秒間スチームが出ます。2~5秒間隔で押してください。

電源コード

電源プラグ

## かけ面

スチーム噴出穴  
(6ヶ所)

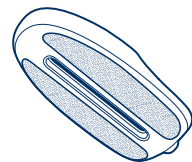
かけ面(フッ素樹脂加工)

長く使用すると摩耗してこびり付防止の効果はうすれますが、そのまま使えます。

ブラシ取り外しレバー

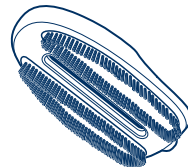
右側へスライドさせると、ブラシがはずせます。

## 付属品



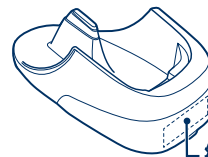
衣類ブラシ…1

ほこりや小さなごみを取る時に使います。



毛ブラシ…1

糸くずや大きなごみを取る時に使います。



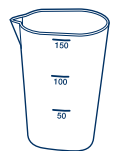
スタンド…1

繊維案内表示  
通電後に本体を置く場合、必ずこのスタンドに置いてください。



お手入れブラシ  
…1

衣類ブラシと毛ブラシのお手入れに使います。



計量カップ…1  
(150ml)

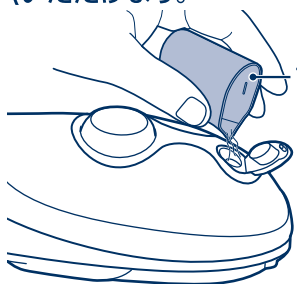
タンクに水を入れる時に使います。



# 使いかた

## 1. タンクに水を入れます。

(ドライアイロンとしてお使いになるときは、タンクに水を入れなくてもお使いいただけます。)



計量カップ

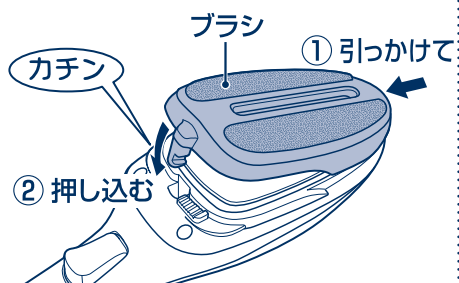
- ① 注水口ふたを開けます。
- ② 付属の計量カップで満水目盛まで上水道の水を入れます。
- ③ タンクの回りについた水滴をふき取ります。
- ④ 注水口ふたを「カチン」と音がするまで確実に閉めます。閉めないと、アイロンを横や逆さまにすると、水もれしたり、熱湯でやけどすることがあります。

### お願い

- タンクに水を入れる際には必ず計量カップをご使用ください。直接、水道から入れると水があふれ、製品内に入り感電・故障・ショートのおそれがあります。
- 上水道の水をご使用ください。
- ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。

## 2. スチーマーとしてお使いのときは、ブラシを取付けます。

### 取付けかた

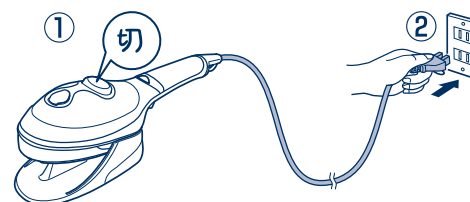


- ① ブラシの手前をアイロン本体のかけ面先端に、図のように引っかけて
- ② 「カチン」と音がするまで矢印の方向に押し込みます。

### △注意

使用中はブラシは高温になります。必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に、ブラシの着脱操作をしてください。ブラシ着脱の際は必ずブラシの温度に注意してください。

## 3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



- ① 温度調節ダイヤルを「切」にします。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

### △注意

衣類を整えている間などは、本体は必ずスタンドの上に置いてください。

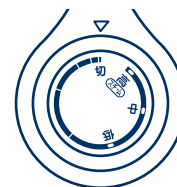
## 4. 温度調節ダイヤルを回して、温度を設定します。

温度調節ダイヤルを使用したい温度に合わせると、加熱ランプが点灯します。

- 温度調節ダイヤルが「切」の場合は、加熱ランプは点灯しません。

### アイロンとして使用するとき

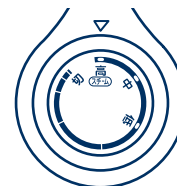
繊維に適した温度に合わせる



衣類に絵表示があるときは、絵表示に従って合わせ、ないときはスタンド部の繊維案内表示を参考にしてください。

### スチーマーとして使用するとき

必ず「高」に合わせる



「高」以外に設定すると、水もれしたり、スチームが出ないことがあります。

### お願い

初めて通電したとき、多少のにおいや煙が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用にともない出なくなります。

### △注意

温度調節ダイヤル「高」より低い温度に合せてスチームボタンを押すとスチームに湯滴がまじります。

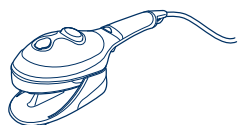
# 使いかた(つづき)

## 5. 使用します。 加熱ランプが消灯すると使えます。

### △注意

衣類を整えている間などは、本体は必ずスタンドの上に置いてください。

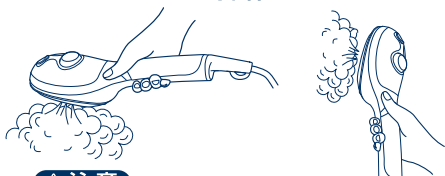
### アイロン



- 温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合は、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してからご使用ください。

### スチーマー シワを取ったり、毛製品をふっくら仕上げるときに。

かけ面を水平またはかけ面を上にして垂直に立てたり、かけ面を横にして約2~5秒間隔でスチームボタンを操作します。



- かけ面を衣類からはなして(10cm程度)、目立たない所でためしがけをしてからお使いください。(特にウール・カシミアなどの起毛性衣類)

### △注意

- スチームボタンを2秒間隔よりも早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。
- 特にウール・カシミアなどの起毛性衣類にかけ面を近づけて使用しますと毛並みが乱れて変色(色が濃くなる)したように見えます。

### スチームが出にくいとき

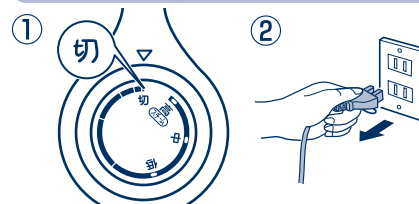
- 使いはじめ…スチームボタンを2~3回操作してください。それでもスチームが出にくいときは、さらにスチームボタンを押してください。
- タンクの水が少なくなったとき…満水目盛まで水を入れてください。

### △注意

- 初めてお使いになるときは、スチームから臭いがすることがありますので、数回スチームを空噴きしてからご使用ください。
- かけ面の温度が上がらないうち(通電開始から約40秒以内)や、温度調節ダイヤルを、「高」より低い温度に設定したとき、またスチームボタンを連続で押してスチームを出しますと、スチーム噴出穴から水や熱湯が噴き出すことがありますので、ご注意ください。
- スチーマーとして使用するとアイロンやタンクの表面に水滴が付着することがあります。これはスチームが結露したものです。水滴が多いときはふき取ってください。
- ブラシが濡れた状態で衣類に押しつけると、まれに色移りすることがありますので、ご注意ください。
- アイロン内にたまった水がスチームになってスチーム噴出穴から出てきます。前回使った水がアイロン内にあるときは、通電を開始してしばらくするとスチームが出ることがありますので、ご注意ください。
- 着たまの衣類に使用しないでください。
- スチーマーとして皮革製品や着物などには使用しないでください。
- アイロンを逆さまにした状態では、スチームが出にくいことがあります。アイロンを上向きにして、スチームボタンを2~3回操作してからご使用ください。
- 大切な衣類や高価なものは目立たないところで、「ためしがけ」をしてから、お使いください。

## 6. 使用後は

### 1. 電源を切ります。



- ① 温度調節ダイヤルを「切」にします。
- ② 電源プラグをコンセントから抜きます。

### 2. 水を捨てます。



注水口ふたを開け、水を捨てます。

### お願い

タンクに水が残っているときは、かけ面内部の腐食防止のため必ず水を捨ててください。

### アイロンかけのコツ…洗たくものが乾いてからアイロンをかけましょう。

アイロンの持ちかた 片方の手でぬい目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら両手を上手に使いましょう。

軽くすべらせる	： しっかり押さえる	： 軽く浮かせる
もどりジワを防ぐため一方向に軽くかけるのがコツです。	ガンコなシワ、厚手の布地の折り目つけなどは、しっかり押さえます。	毛足の長い繊維やにおいとりは軽く浮かせてスチームをあてます。

### ワンポイントアドバイス

〈スチームが下へよく通るアイロン台を使いましょう。〉



〈アイロンかけは順序よく〉



- スチームが布地の中まで入り、仕上がりがよくなります。

### △注意

アイロン台を通過するスチームに注意してください。やけどの恐れがあります。

- 低い温度のものから高い温度のものへ 順番に布地に合った温度でかけます。



アイロンかけの前に衣類を分類しておけば能率的です。  
● 高い温度から低い温度に設定すると、低い温度になるまで十数分かかる場合があります。

### 綿や麻などには霧吹きをしましょう

霧吹きをしてからドライアイロンをかけるときれいに仕上がります。

### かけ面に衣類がからみつくときは

静電気が発生していますので、衣類の端まですべらせてからアイロンを持ち上げます。

### スプレーのり等の仕上げ剤を使うときは

成分にシリコンが配合されたものをお使いください。  
衣類にスプレーしてからひと呼吸おき、のりを衣類になじませてからかけると、アイロンがかけやすく効果的です。  
洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、**必ずドライアイロンかけ**をします。

- 少し固めに仕上げたいときは… **スプレーのり** → **アイロンかけ(ドライ)** を繰り返します。  
(一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因になります。)

### 洗たくのり付けをした生乾きの衣類には

必ず、ドライアイロンをかけてください。

### アップリケや接着芯などを接着するときは

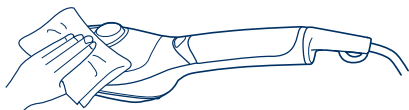
必ず「あて布」をして、アイロンかけをしてください。  
説明書が添付されているときは、それに従ってください。

かけ面にのり成分が付着した場合は、かけ面が冷えてからその都度お手入れをしてください。

- のりが付着したままお使いになると、かけ面にこびりついて、とれにくくなります。  
また、そのままぬれた布にアイロンかけをすると、色移りする場合があります。

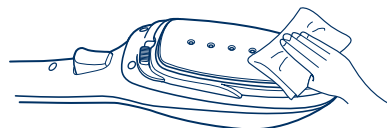
## お手入れ… 電源プラグをコンセントから抜き、製品が冷めてからお手入れをしてください。

### アイロンやスタンドの汚れ



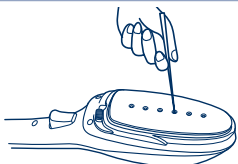
少量の中性洗剤を水でうすめ、布に浸してからよくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとってください。

### かけ面の汚れ



スプレーのりを使った後は、その都度ぬれた布でふいてください。

### スチーム噴出穴のつまり



- つまようじなどでゴミをとりのぞき、ぬれた布でふいてください。
- その後、スチーム温度に加熱してから、ご不用の布地の上で数回スチームを噴出してください。

## スチーマーのコツ

綿や麻など生地がざっくりしたものはしわがスチームでは取れにくいものがあります。  
霧吹きをしてからドライアイロンをかける事をおすすめします。

### 使用例

アイロンかけのしにくい背広の肩などの立体的な部分の仕上げに



- ハンガーにかけたまま端を軽く引っ張りながら、ブラシで衣類をなでるようにしながらスチームをかけます。
- ガンコなシワの場合は衣類に近づけて、スチームを多めにあててください。



いやなにおいとりに

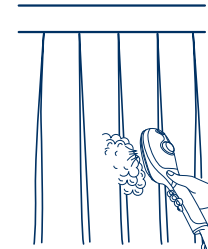
- しまいこんでいた衣類の防虫剤のにおいや衣類にしみついたタバコのにおいなどは全体的にスチームをかけます。



アイロンかけのむずかしい薄物の服や毛足の長いコートの仕上げに

- ハンガーにかけたままブラシを衣服から離してスチームをかけます。コート類は、スチームをかけた後、軽くブラシをかけます。

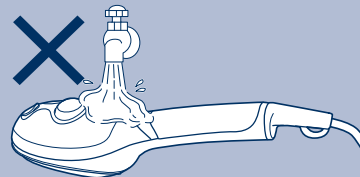
カーテンやカーペット・ソファーなどの移動しにくいものくせとりに



衣類のたたみジワなど、お出かけ前の忙しいときのしわのばしに  
テカリや静電気の軽減にも役立ちます。

### 禁止

製品に水をかけないでください。



故障や感電事故の原因になります。

シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類、アルカリ性洗剤では絶対にふかないでください。



アイロンのかけ面は金属ブラシやみがき粉、塩素系漂白剤でみがかないでください。  
かけ面がいたみます。

# こんなときは

こんなときは？	調 べ る と ころ	処 置
熱くならない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	布地に合った温度に設定していますか？	設定温度を適温に合わせてください。
	温度調節ダイヤルが「切」になっていませんか？	布地に合った温度に合わせてください。
スチームが出ない 少ない	タンク内にゴミが入っていませんか？	ゴミを取り除き、きれいな上水道水を使用してください。
	スチームボタンを3～4回押ししても出ませんか？	さらにスチームボタンを10～20回押ししてください。
	温度調節ダイヤルは「高」に設定してありますか？	温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	スチーム噴出穴にゴミや水あかがつまっていますか？	つまようじなどで噴出口のつまりを取り除いてください。
水もれ・湯滴	低い温度でスチームボタンを押していませんか？	温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	通電直後に使用していませんか？	加熱ランプが点灯しているときは、消えるまで待ってください。
	スチームボタンを2秒間隔より早く操作していませんか？	スチーム使用時はスチームボタンを2～5秒間隔で押してください。
布地が焦げる	布地に合った温度に設定していますか？	温度設定を適温に合わせるか、あて布をしてください。
	目盛を「高」から「低」に変えたとき、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用していますか？	加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。
	「高」以外の繊維にスチームアイロンをかけるとき、あて布をしていますか？	あて布をしてください。

# アフターサービス

## 1. 保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

## 2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。  
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 3. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときには電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

### ●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。  
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。

### ●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

## 4. 補修用性能部品の最低保有期間

- このハンディーアイロン&スチーマーの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

### ＜修理料金のしくみ＞

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

### ＜修理部品について＞

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

### お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-337-455

FAX (0256) 93-1077

お電話承り時間:平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時


〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

# 仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	800W
電 源 コード (約)	2.5m
注 水 量 (約)	100mℓ
かけ面の面積 (約)	65cm <sup>2</sup>
蒸 気 発 生 方 式	滴下式
製 品 質 量 (約)	930g(付属品込)
アイロン寸法 (約)	幅345×奥行76×高さ96mm
スタンドセット寸法 (約)	幅354×奥行84×高さ114mm

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

★長年ご使用のハンディーアイロン&スチーマーの点検を！	
 <p>愛情点検</p>	<p>ご使用の際このようなことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。</li> <li>●電源コードが傷ついたり、電源コードを動かすと通電しなかったりする。</li> <li>●こげくさい臭いがする。</li> <li>●かけ面や取っ手が熱い。</li> <li>●その他の異常・故障がある。</li> </ul>
<p>ご使用中</p>	<p>故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。</p>